

事務事業名 障害者高齢者成年後見制度相談事業

出力日：令和05年04月27日

キーコード：1405

施策：	15 地域福祉の推進	財務コード	01030101-12-00
基本事業：	02 多様なニーズに対応する仕組みづくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	民生委員の充足率 身近な問題を相談する市の窓口を知っている市民の割合 相談できる相手や場所がある市民の割合	担当課	生活福祉課
		担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成20年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民			認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者及びその家族等が、成年後見制度について気軽に相談出来るよう市民相談会を開催する。 また、成年後見制度に関する筑紫野市、包括支援センター等職員に対する指導・助言業務を委託する。  市民相談会の概要（令和3年度） 【開催日】年間5回（7月16日(金)、10月15日(金)、11月19日(金)、12月17日(金)、2月18日(金)） 【時間】10時～15時（予約不要） 【会場】筑紫野市生涯学習センター 【相談内容】成年後見制度、相続、遺言、財産管理、死後事務など 【料金】無料							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【開 催 日】年間5回（7月16日(金)、10月15日(金)、11月19日(金)、12月17日(金)、2月18日(金)）							
成年後見制度について市民が気軽に相談できる。			【時 間】10時～15時（予約不要） 【会 場】筑紫野市生涯学習センター 【相談内容】成年後見制度、相続、遺言、財産管理、死後事務など 【料 金】無料							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	目標	
			実績	実績	当初	要求	計画	計画		
相談者数		人	36	66	60	70			80	
5. コスト										
事業費		計	千円	457	458	458	458			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	0	0	0	0			
一般		千円	457	458	458	458				
正職員人工数		人工	0.24	0.12	0.07					
正職員人件費		千円	1,927	951	541					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,384	1,409	999	458				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている		相談者数は、令和3年度は66人、令和2年度は36人とコロナ禍にもかかわらず増加した。今後も、高齢者人口は増えていくため、相談の必要性は高まっていくと考えている。								
どちらかといえばあがっている										
あがっていない（停滞・低下）										
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	なし	認知症高齢者が増加することが見込まれるが、成年後見制度がそれ程認知されていないため、周知活動が今後も必要である。						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	中程度									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
令和3年度より、制度を周知するために、高齢者支援課と連携し、介護保険証発送時に相談会のパンフレットを同封することとした。										
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
認知症、知的障がい、精神障がい等の理由で判断能力が不十分な方の財産管理や福祉サ - ビス利用及び施設入所に係る契約等に関する相談事業として、平成20年度から事業を実施している。平成29年度まで年3回実施していたが、相談件数の増加により、平成30年度から年5回に増やした。										